高校生における嫌いな食品と性格との関連性の検討

○石橋和子（岩手大学）　　鈴木由美（聖徳大学大学院）

キーワード：高校生，嫌いな食品，性格

目　　的

高校生において,嫌いな食品,及び性格について調査する。嫌いな食品が多い人とその性格との関連等について明らかにすることが目的である。

方　　法

実施時期と対象　調査は,2017 年 2 月に東京都立 A 高等学校 2 年生 203 名を対象に行った。

質問紙の内容　嫌いな食品の種類と,その理由等について,質問紙調査を行った。性格調査の尺度は,伊藤（1993）の信頼性が確認された尺度項目を使用した。「4 とてもよくあてはまる」から「1 あてはまらない」までの 4 件法で回答を求めた。

分析　性格は,最尤法 Promax 回転で因子分析を行った。嫌いな食品と性格の関連については多重対応分析を行った。

結果と考察

性格の因子分析では,3 因子が抽出された。

第 1 因子は「相手の顔色をうかがうことが多い,何かを決める場合自分ひとりでは決められない」等の項目のため,「相手従順」とした。

第 2 因子は「社会(周りの人)のために役に立つ人間になりたい,周りとの調和を重んじている」等の項目であるため,「役割調和」とした。

第 3 因子は「自分が満足していれば人が何を言おうと気にならない,自分中心に考えることが多い」のように,自分の考えに基づき,自分の判断で行動する項目のため,「独断実行」とした。

各因子の信頼性は,Cronbach のα係数を算出し Table のようになり内的一貫性が確認された。

嫌いな食品と性格の各因子との関係は,Figure1～3 のようになった。独断実行が他に比較して大きく異なるプロットを示し,また,嫌いな食品度合と性格因子との相関係数が高い値を示した。独断実行の性格因子では,嫌いな食品が多い人ほど,独断実行の傾向にあることが示唆された。

Table　嫌いな食品度合における性格特性の因子分析結果

質問項目	F1	F2	F3
F1：相手従順（14項目，α=.83）			
相手の顔色をうかがうことが多い	**.67**	.19	-.06
人の目ばかり気にして、自分を失いそうになることがある	**.67**	.06	.06
自分の心に正直に生きている	**-.59**	.09	.17
小さなことも自分ひとりでは決められない	**.59**	.01	.16
人前で見せかけの自分をつくってしまう	**.58**	.16	.20
何かを決める場合、周りの人に合わせることが多い	**.58**	.03	-.10
人の先頭に立つより、多少がまんしてでも相手に従うほうだ	**.53**	.07	-.05
何か良くないことがある地、すぐ自分のせいだと考えてしまう	**.53**	.04	.04
自分の信念に基づいて生きている	**-.53**	.40	.12
自分の生きるべき道が見つからない	**.48**	-.24	.05
自分が本当に何をやりたいのかわからない	**.47**	-.12	-.03
困ったことがあると、すぐに人に頼ってしまう	**.41**	.26	.24
周りと反対でも、自分が正しいと思うことは主張できる	**-.37**	.23	.19
人に合わせるよりは、たとえ孤独であっても自由なほうがよい	**-.23**	-.09	.19
F2：役割調和（10項目，α=.81）			
他の人から尊敬される人間になりたい	.22	**.69**	-.07
社会(周りの人）のために役に立つ人間になりたい	.17	**.63**	.00
他の人の気持ちになることができる	.06	**.62**	-.17
人とのつながりを大切にしている	-.07	**.59**	-.08
自分の個性を生かそうと努めている	-.21	**.58**	.25
社会(周りの人)の中で自分が果たすべき役割がある	-.04	**.57**	.15
人に対しては、誠実であるよう心がけている	.00	**.54**	-.12
他人に恥ずかしくないように生きている	-.11	**.47**	-.09
社会のルールに従って生きていると思う	.03	**.45**	-.11
周りとの調和を重んじている	.11	**.42**	-.23
F3：独断実行（6項目，α=.73）			
自分中心に考えることが多い	.10	-.14	**.66**
周りのことを考えず、自分の思ったままに行動することがある	.04	-.13	**.60**
自分の性格は、わがままだと思う	.36	-.01	**.57**
自分が満足していれば人が何を言おうと気にならない	-.18	-.13	**.57**
個性が強すぎて、人とよくぶつかる	-.01	-.01	**.53**
何ごとも独断で決めることが多い	-.13	.01	**.39**
因子間相関	F1	F2	F3
F1	—	-.24	-.04
F2		—	-.05

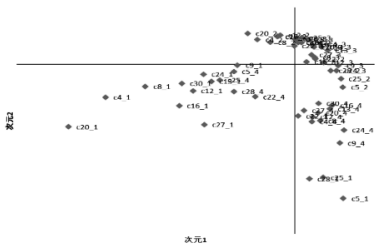

Figure 1　嫌いな食品と相手従順のプロット

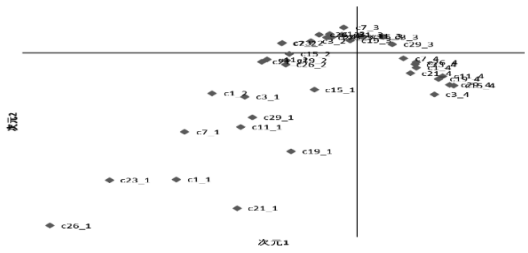

Figure 2　嫌いな食品と役割調和のプロット

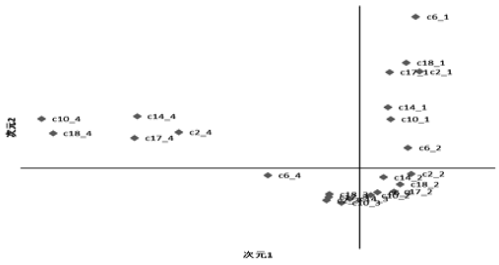

Figure 3　嫌いな食品と独断実行のプロット